

安心して
住みつづけられる
まちをつくらう



総代会の様子

5月27日にみみはらホールで、第30回友の会総代会が行われました。代議員75人中73人の出席でした。森島会長の開会挨拶の後、ご来賓の方々からメッセージをいただきました。

1号議案では、2016年度の活動のまとめと20

健康友の会みはら第30回総代会開催

2017年全体目標

- まちづくりの観点から対市・対区キャラバンへ積極的に参加し、行政への働きかけだけでなく、協力もしながらより住みよいまちづくりをすすめます。
- 平和・社保運動へ引き続き積極的に参加して行きます。
- 健康予防・健康づくりを積極的にすすめていきます。
- 他団体との連携もつよめていきます。
- パートナーとして同仁会との連帯を深めていきます。

仲間増やし目標	3000件
協同基金目標	3億円 (職員退職金引き当て除く)
	純増8000万
担い手増やし	1200人
健診紹介カード	0支部をなくします

すべての支部で10班の班組織を目指していきます

が確認されました。

3号議案は、新役員体制の提案で2人の代表世話人の交替がありました。

また、新たに副会長2人を選出しました。

2号議案では会則の改定が提案され、連絡先不明で5年以上経過した「みなし脱退」が加えられました。さらに、代議員の基準を個人会員数でとらえる変更案が確認されました。

今後も「安心して住み続けられるまちづくり」を目指して地域の要求に根差した活動を行っていくことを確認しました。

17年度の活動方針が提案されました。全体を通して仲間増やし・協同基金件数・担い手増やしなど毎年増加しています。

で懇談をしました。

私たちが友の会では「住み続けられる街づくり、元気で長生きを」と日々

開催をお勧めします。
（ふくいずみ支部
江戸 道子）

懇談会となりました。最初に竹山市長から、8年間の市政報告とこれからの抱負を語っていただきました。

友の会西区ブロックでは、6月10日（土）、鳳クリニック4階友の会ルームで竹山市長を迎えて「おでかけタウンミーティング」を行いました。当日は、40人以上の方が参加してくれ、有意義な

西区ブロックで
タウンミーティング

市長を
困んで



活動をしています。9月

には市長選挙がありま
す。私たちも賢い市民に
なつて市民の事を考えて
くれる人を市長に迎えて、
住みよい堺をつくつてい
かななくてはと思いま
した。

竹山市長は「希望があればどこへでも行きま
す」と。私たちの要望を
直接伝えるいいチャンス
です。ぜひ多くの場所
のタウンミーティングの

開催をお勧めします。
(ふくいずみ支部
江戸 道子)

江戸道子)

聴診器

東京六本木、国立新美術館「ミュンシャ展」に寄つた。最大8m×6mのキャンバス、油彩画20点の展覧会である。1895年パリ、舞台女優のポスター画によつてミュンシャは売れっ子になった。そのイメージが先行するが、今回の展示はチエコなど中央ヨーロッパが舞台の「スラブ叙事詩」である。近隣からの迫害、侵略を受け続けたモラヴィアは1918年チエコスロバキア共和国として独立した。スメタナは交響詩「わが祖国」で、ミュンシャは絵画で自分の生まれ育つた地の歴史と向き合つた。▲それにしても大きな絵だ。少し離れてやっと全体が見られる。淡い色調であるが濃淡、明暗を組み合わせ人、自然、建造物を緻密に描く。戦場で身を隠す母子、売春宿を壊し修道院にする工事現場、平和を願う人々が集う輪……。画中の一人がこちらを向いている。悲しい思いを共有しこれからは戦いをなくそうと訴える目だ。▲レンブラント、フェルメール、ダヴィンチなどどの有名作品はあちこちで目にする。堺市にはミュンシャの常設館があるがこれまで行つたことはない。だから黄色調のポスター絵しか知らなかった。優しい輪郭線から女性の画家だと思つてた。今回作品には民族衣装を着たたくさんの人が登場する。彼らは長くつらい歴史を一緒に見つめ、共に明るい未来へ進もうとするミュンシャの仲間たちである。(和)